

安全報告書



令和元年 6 月

成田空港高速鉄道株式会社

1 はじめに

当社の成田空港高速鉄道線は、平成3年3月の営業開始以来、当社鉄道施設を使用する第二種鉄道事業者である東日本旅客鉄道株式会社及び京成電鉄株式会社により、鉄道施設の保守・保守の管理及び列車の運行について、適切に遂行していただきましたことにより、大きな事故の発生もなく、今日まで、成田国際空港をご利用のお客さま及び従業員等の皆さまのアクセス鉄道として、その使命を果たしています。

当社線の鉄道施設の通常の保守及び保守の管理につきましては、第二種鉄道事業者において、列車運行と共に一元的に行っていただき、輸送の安全の確保を図っています。

第三種鉄道事業者である当社の輸送の安全に対する取り組みとしては、「輸送の安全に関する基本的な方針」において、役職員が遵守すべき安全に関する行動規範を定めるとともに、定期的に現場巡視・点検を実施し、鉄道施設の傷み等についての状況把握に努めています。

第二種鉄道事業者と当社においては、保守及び保守の管理を円滑・適確に行うため、合同で保守連絡会議を毎事業年度毎に2回開催することを定め、工事等の実績・計画の報告及び安全に対する緊密な情報交換等を行っています。

また、当社では、首都直下地震に備え、当社線においてお客さまの安全を守り列車の運行を確保するとともに、沿線地域等への2次被害を防止するため、平成26年度から平成30年度にかけて、高架橋柱253本及び根木名川橋りょう6本の耐震補強工事を完了しました。

また、内外のお客さまや身体の不自由なお客さま等のホームからの転落や列車との接触を防止するため、安全対策としてホームドア工事に着手し、平成30年度において空港第2ビル駅京成線ホームの工事を完了しました。引き続き2020東京オリンピック・パラリンピック開催に対応し、令和元年度中に2駅とも完了する予定です。

これからも、成田国際空港の鉄道アクセスとして、空港両駅をご利用されます「お客さまの安全第一」をモットーとして事業を行ってまいります。

成田空港高速鉄道株式会社
代表取締役社長 藤井 章治

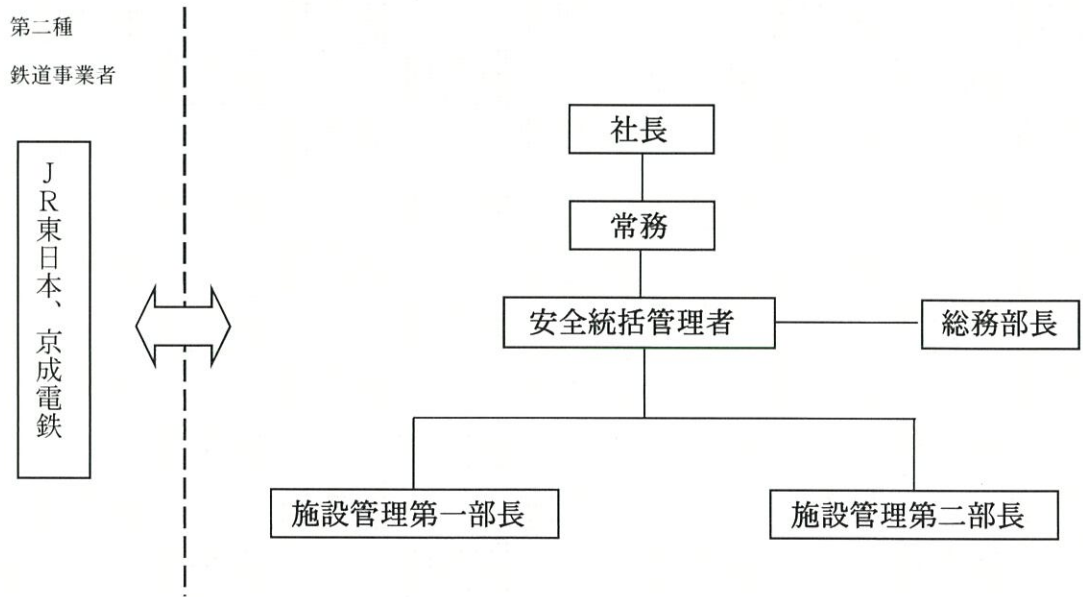
2 輸送の安全に関する基本的な方針

当社は、輸送の安全を確保するための基本的な方針を次のとおり定めました。

1. 社長及び役員は、安全第一の意識をもって事業活動を行える体制の整備に努めるとともに、鉄道施設及び社員を総合活用して輸送の安全を確保するための管理の方針その他事業活動に関する基本的な方針は、次項の規定によるものとし、安全の確保に関する業務の実施状況等を踏まえ、必要に応じ見直します。
2. 輸送の安全に係る社長、役員及び社員の行動規範は、次のとおりとします。
 - (1) 一致協力して輸送の安全の確保に努めます。
 - (2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともに、これを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。
 - (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するよう努めます。
 - (4) 職務の遂行に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取り扱いをします。
 - (5) 事故・災害等が発生した時は、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとります。
 - (6) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
 - (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。
3. 第1項の基本的方針に基づく取り組みの実績については、毎年度とりまとめ、安全報告書に含めて公表します。
4. 安全管理体制の内部監査実施要領を策定し、同要領に基づき、定期的に内部監査を実施します。

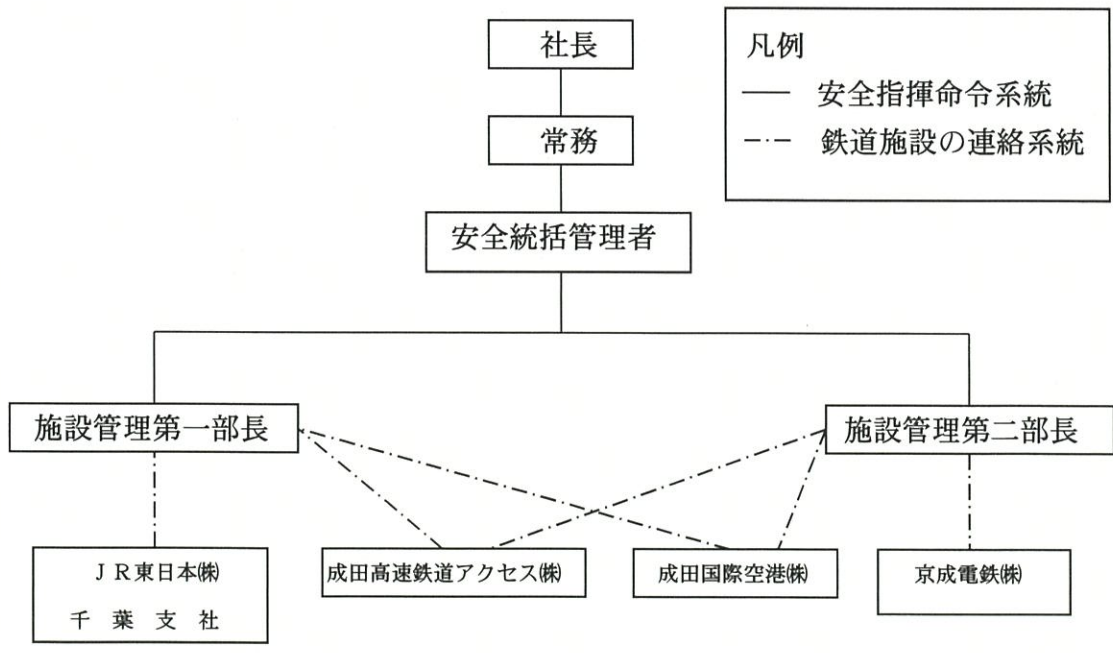
3 安全管理体制

鉄道事業における安全管理体制を次図のとおりとしています。



4 鉄道施設管理体制

鉄道施設の管理体制を次図のとおりとしています。



5 輸送の安全確保のために講じた措置

当社は第三種鉄道事業者であり、列車運行に関しましては第二種鉄道事業者である東日本旅客鉄道株式会社及び京成電鉄株式会社が行っております。

従って、当社とこれら第二種鉄道事業者との緊密な連携のもとで、平成30年度において次のように輸送の安全確保のための措置を講じました。

- (1) 当社の鉄道施設の保守及び保守の管理は、上記2社と締結した「成田空港高速鉄道線の保守及び保守の管理等に関する契約」及び「成田空港高速鉄道線の保守及び保守の管理等に関する覚書」に基づき行っています。
- (2) 保守及び保守の管理等を円滑に行うため、事業年度毎に9月期（平成30年度事業報告等8/22開催）及び3月期（平成30年度事業計画等3/6開催）に3社による保守連絡会議を開催しました。
- (3) 平成26年度から着手した耐震補強工事については、国、千葉県及び成田市の補助措置を受け、平成26年度から30年度において高架橋柱253本、落橋防止工2連の工事及び根木名川橋梁の橋脚6本の工事を実施し、完了いたしました。



- (4) 平成30年度の安全対策としては、空港第2ビル駅京成線ホームに成田国際空港をご利用のお客さまの安全確保と利便性向上のため、ホームドア及び多機能トイレ（成田スカイアクセスホーム）を整備いたしました。令和元年度の安全対策としては、引き続き、空港第2ビル駅JR線ホーム及び成田空港駅JR線・京成線各ホームへのホームドアの整備を行います。

